

## 校章



富良野市章は、市立校を表すとともに3地区を象徴し、これを一つの円でつなぐことによって「和」を表現したものである。

(デザイン 杉島 英治 先生)

## 校名由来

北海道の屋根といわれる大雪山・十勝岳連邦に連なる大山麓の裾野から東山方面にかけて、東京大学北海道演習林の2万3千ヘクタールの美しい自然林が林学研究のため保存育成されている。

その森林の様子は、さながら森林の海原のようであり、開道百年祈念にあたり、元東大演習林長高橋教授の命名により、千古の景観を「樹海」と名付けられまして、誠に意義深いことでありました。

東京大学演習林と東山村との結びつきは、過去不離一体の発展をとげながら、開墾魂は脈々として受け継がれております。

この大自然の景観を地区住民の協力により、シンボルとして東山地区の学校名とするものであります。

そして、一日一日成長して巨木となる銘木のごとく子どもの未来の発展を願っていくものであります。

(昭和54年市長議会提案説明から)

## 校歌

作詞 國井 繁雄  
作曲 大和田俊典

一 山なみの 連なるかなた

宇宙へと 続く大空

たゆみなく 知性をみがき

ゆるぎない みちを開こう

おおわれら 樹海中学

ふる里に 夢はふくらむ

二 清らかな 流れのかなた

未来へと 続くあこがれ

いたわりの 誠を育て

さわやかに 力合わそう

おおわれら 樹海中学

ふる里に 誇り受け継ぐ

三 風雪の 教えのかなた

切り開く のぞみはてなし

すこやかに 体をきたえ

ねばりつよく 強さしめそう

おおわれら 樹海中学

ふる里は 光あふれる

昭和五八年二月二六日制定